

## 男子優勝の屋敷浦東ミニバスケットボールクラブ

### ミニバスフエスティバル

第28回習志野市スポーツ少年団ミニバスケットボールフエスティバルが5月15日と16日、袖ヶ浦体育館で開かれた。男子は8チーム、女子は12チームが参加し、トーナメント戦が行われた。2年ぶりの開催となった大会では、熱戦が繰り広げられ、男子は屋敷オールスターズ、女子は袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブが優勝を飾った。



女子優勝の袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブ



男子優勝の屋敷オールスターズ



女子準優勝の実花MBC



男子準優勝の秋津ミニバスケットボールクラブ

女子の部	男子の部
<b>▽1回戦</b> 鷺沼 42-30 FT5 西 43-15 大東	<b>▽1回戦</b> 秋津 63-42 FT5 大久保 45-24 袖西 屋敷 82-12 袖東 実花 65-28 谷津
<b>▽3位決定戦</b> 大久保 59 実花 10 13 14 10 11 10 6 14	<b>▽3位決定戦</b> 秋津 41 大久保 6 14 11 10 9 4 4 13
<b>▽決勝戦</b> 屋敷 49 秋津 10 5 18 16 11 11 11 11	<b>▽準決勝戦</b> 秋津 47 大久保 8 11 18 10 14 8 2 11

女子優勝の袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブの岡澤亜依キャプテンは「チームで初めての公式戦だったので不安もありましたが、一人ひとりの勝ちたい気持ちが強かったこと、それぞれの役割を全力でやったこと、仲間を信じてプレーしたことで優勝することができました。コロナ禍で大変な時期でしたが、大会に参加できてうれしかった」と語った。

## 習志野市・八千代市選抜準V 千葉県少年野球女子大会



県大会準優勝を果たした習志野市・八千代市代表の「習八TOMBOY」(写真提供・習八TOMBOY)

第8回千葉県少年野球女子大会(JA共済連千葉旗)が5月15日と16日、船橋市の高瀬運動広場・球場ほかで開かれ、習志野市・八千代市代表の「習八TOMBOY(トムボーイ)」が準優勝を果たした。

大会には県内9地域の選抜チームが出場。大会初日は3グループによる予選リーグが行われ、習八TOMBOYは、なでしこチャームینگ(北総地域)に10-9、オレンジールズ(東葛地域)に21-3で勝利し、予選リーグを突破した。翌日の3チームによる決勝リーグでは、第1試合で市川市代表の市川ガールズに8-0と快勝する。最終戦の第3試合では、1勝同士の千葉市代表の千葉ドリームガールズと対戦。試合は千葉ドリームガールズが4回表まで5-2と3点リードするが、習八TOMBOYは4回裏に1点差に迫る。しかし、千葉ドリームガールズはその後、4点を加えて9-4。6回裏、習八TOMBOYも2点を返すが、9-6で敗れ、準優勝となった。

女子の部	男子の部
<b>▽2回戦</b> 実花 66-26 向山 屋敷 39-36 鷺沼 大久保 80-3 袖西 実花 38-36 谷津南 屋敷 41-32 谷津	<b>▽2回戦</b> 袖東 37 大久保 8 11 6 12 9 8 8 2
<b>▽3位決定戦</b> 実花 55 屋敷 16 18 12 9 0 4 12 6	<b>▽3位決定戦</b> 大久保 43 屋敷 7 17 8 11 10 4 10 14

①袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブ②実花MBC③大久保MBC

30日から開催。2年ぶりの大会には170校から連合を含め157チームが参加し、頂点を目指す。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策が取られる中、入場制限を行うなどして実施(6月27日時点)。

市内からは習志野高校、津田沼高校、実花高校、東邦大付属高校が出場。習志野高校は成田高校、日体大柏高校、木更津総合高校などとのブロックで戦う。決勝戦は7月19日午前10時からZOZOマリンスタジアムで行われる予定。